

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.219

静岡県企業局

● 電話 054-221-2153

● F A X 054-251-5381

発行 令和4年8月25日

ユーザーの皆様と連携した防災訓練を実施します

企業局では、大規模災害時に用水供給が出来なくなる事が想定されることから、災害時の早期復旧に向けた応急体制を確立するために、工業用水道ユーザーの皆様と連携した防災訓練を実施しています。今年度も、以下のとおり訓練の実施を予定していますので、積極的な御参加をお願いいたします。

訓練実施日 令和4年8月30日（火）

訓練内容 ※ 参加希望の工業用水道ユーザー様を対象に行います。

- ◇ メール及びFAXを使った情報伝達訓練
 - ◆ ユーザー様と企業局の連絡体制の確認を行います。
- ◇ 「災害時管路情報システム」による工水被害状況確認訓練
 - ◆ 断水情報、復旧見通しなど事業再開の目安となる情報を発信します。



【災害時管路情報システムとは？】

工業用水道の断水状況や復旧見通し等の情報をスマホやパソコンで確認できます。（ユーザー様のみが閲覧可能です）

※ユーザーID・パスワードについては配布済ですが、システム情報についてお問い合わせ等ありましたら各事務所まで御連絡ください。

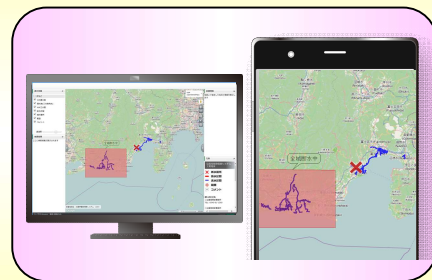
<https://shizuoka.gisadmin.geocloud.jp/webgis/login.html>



※上記URLには、企業局ホームページもしくはバーコードリーダーからもログイン画面にアクセスできます。

「静岡県トップページ」→「組織(部署)から探す」→「企業局」→

トピックス：「災害時管路情報システム」を構築しました



【企業局より 緊急時連絡用のメールアドレス登録のお願い】

大地震が発生すると、しばらくの間、電話やFAXが不通となる恐れがあります。緊急時に相互の情報を伝達する複数の手段確保のためメールアドレスの登録をお願いします。

登録方法

「災害時の連絡先の登録様式※」を御記入の上、各事務所宛て送信願います。

静岡県企業局東部事務所総務課メール kigyou-tobu@pref.shizuoka.lg.jp

西部事務所総務課メール kigyou-seibu@pref.shizuoka.lg.jp

※「静岡県トップページ」→「組織(部署)から探す」→「企業局」→トピックス：「緊急時の連絡先登録」のお願いからダウンロード

※ 御登録いただいたメールアドレスは、防災関係情報以外には使用いたしません。

総合特区現地調査が行われました

6月29日（水）に内閣府地方創生推進事務局による「ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区」の現地調査が行われました。

当日は、企業局で造成した「富士山麓フロンティアパーク 小山」を始め、同じ小山町の「モータースポーツビレッジ」や三島市の「三ツ谷工業団地」などで、企業局及び関係市町担当者から事業概要を説明しました。

総合特別区域専門家委員からは、「全体として順調に進捗している」「初期は防災減災のイメージが強かったが、産業を興すことで人口減少に対応するなどの取組が展開され評価できる」等の意見をいただきました。



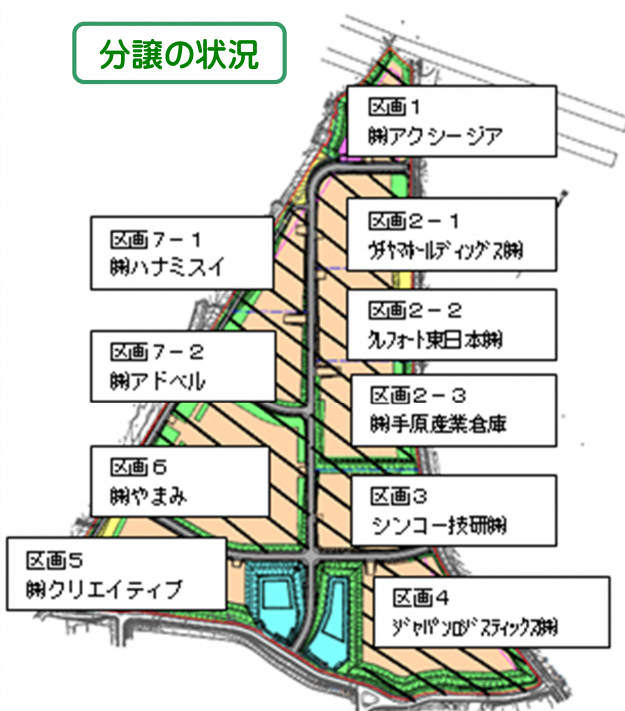
小山町職員から説明を受ける専門家委員

ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区（“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組）

本特区では、東日本大震災の教訓を踏まえ、南海トラフの巨大地震等の有事に備えた地域づくりモデルを形成するため、新東名高速道路等の交通ネットワークを最大限活用し、内陸部に災害に強く魅力ある先進地域を築くとともに、都市部を防災・減災に対応した地域に再生し、両地域間の連携と相互補完による均衡ある発展を促す“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組を県・市町が連携・協力して推進し、防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくりの実現を目指しています。

富士山麓フロンティアパーク 小山

分譲の状況



富士山麓フロンティアパーク 小山とは

「富士山麓フロンティアパーク 小山」は、本県が進める“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組のうち、新東名高速道路等の周辺地域における企業用地創出による新産業や成長産業の創出・集積を目的に、企業局が小山町で整備した工業団地です。

事業の概要

事業期間は H26～H30、総事業費は約 45 億円、開発面積は 31.4ha（分譲面積は 23.9ha）で、小山町と連携して全 10 区画の企業誘致に取り組み、令和 3 年 2 月に完売しました。

事業の成果

進出企業 10 社のうち 8 社が県外企業（うち 7 社は本県初進出）で、食料品、化粧品、医療器具など、成長分野の企業の誘致に成功しました。

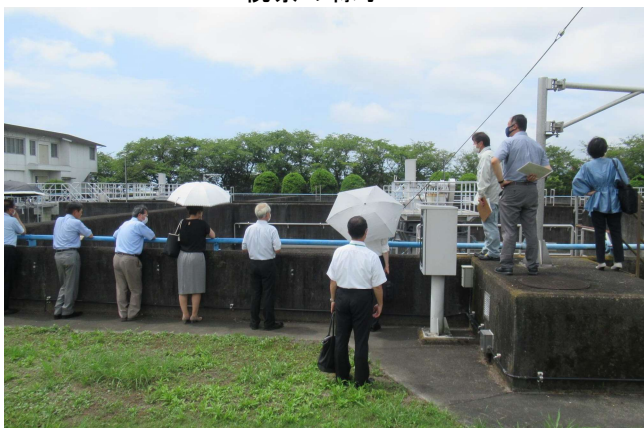
現在、5 社が操業を開始し、2 社が建設中、3 社が着工に向け準備しており、雇用や経済波及効果など本県経済への貢献が期待されています。

経営評価委員会を開催しました

企業局では、外部の有識者等から幅広く意見・提言を得て、経営の効率性や事業実施過程の透明性について一層の向上を図るため、「静岡県企業局経営評価委員会」を設置しています。

去る8月1日、今年度第1回目の経営評価委員会を開催しました。会議では、企業局の3事業（工水・水道・地域整備）の令和3年度決算概要や、各事業毎の取組状況、企業局経営戦略（第4期中期経営計画）の進捗状況の説明等を行いました。

視察の様子



企業局の事業について、委員の皆様理解を深めていただくことを目的に、会議に合わせて、「厚原浄水場、富士川浄水場、富士大淵工業団地」の現地視察を行いました。

浄水場では、施設の概要、浄水手法、発生土の処分方法等について、富士大淵工業団地では、造成経緯、進出企業、今後の取組等について説明を行いました。

（画像は厚原浄水場）

<御出席いただいた委員の皆様>

氏名	役職
朝月 雅則	浜松市水道事業及び下水道事業管理者
石巻 幹子	石巻幹子会計事務所 公認会計士
鎌田 素之	関東学院大学理工学部 准教授
小泉 祐一郎	静岡産業大学 教授
上坂 美乃	株式会社上坂 代表取締役社長
樋口 徹	東京成徳大学経営学部 教授
古郡 英治	富士商工会議所 専務理事
山田 慎也	一般財団法人静岡経済研究所 理事
山本 麻美	株式会社富永事業 代表取締役

会議の様子



<会議での意見抜粋>

- 官民連携の取組について、企業の裁量を大きくしたり公募がしやすい形で進めていただくと色々な業者から応募があると思う。
- ビルドメンテナンス契約の関係で、受水市町を集めた説明会や勉強会を開催しているが、今後も必要に応じてそういった機会を設けていただければと思う。
- 今後メンテナンスコストがかかり財政的に厳しくなる中で、コスト削減をするために、例えば3事業間で資金をうまく活用できないか。民間発想で色々やれることがあると感じる。
- 水の供給について、ユーザーが求める水質レベルに応じて提供する方法が効率的にできれば、長い目を見たときに良い意味でコストカットできるのではないかと感じた。

※経営評価委員会の詳細（会議資料、会議録など）は、今後、企業局ホームページに掲載予定です。

「企業局」⇒「経営評価委員会」

今回いただいた御意見を活かし、
より一層の健全経営に努めてまいります。

水道事業の業務状況(令和4年7月25日現在)

7月の使用水量は、前年度同期比で、駿豆水道は97.6%、榛南水道は95.2%、遠州水道は97.5%と減少し、全体では97.4%となっています。(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			7月分	累計	7月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,000	12,200	846	3,357	27.5
	前年度同期	100	3,100	12,300	867	3,474	28.2
	前年度同期比	100.0	96.8	99.2	97.6	96.6	
榛南	当該年度	27	810	3,294	439	1,762	53.5
	前年度同期	27	837	3,321	462	1,819	54.8
	前年度同期比	100.0	96.8	99.2	95.2	96.9	
遠州	当該年度	292	8,763	35,636	5,025	20,115	56.4
	前年度同期	292	9,055	35,928	5,152	20,231	56.3
	前年度同期比	100.0	96.8	99.2	97.5	99.4	
合計	当該年度	419	12,573	51,130	6,310	25,234	49.4
	前年度同期	419	12,992	51,549	6,481	25,524	49.5
	前年度同期比	100.0	96.8	99.2	97.4	98.9	

工業用水道事業の業務状況(令和4年7月25日現在)

7月の使用水量は、前年度同期比で静清工水は101.7%と増加し、柿田川工水は95.9%、ふじさん工水(富士川)は95.9%、ふじさん工水(東駿河湾)は93.7%、中遠工水は93.8%、西遠工水は94.8%、湖西工水は93.2%と減少し、全体では94.9%となっています。(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			7月分	累計	7月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,000	12,200	2,890	11,682	95.8
	前年度同期	100	3,100	12,300	3,014	11,884	96.6
	前年度同期比	100.0	96.8	99.2	95.9	98.3	
ふじさん (富士川)	当該年度	25	749	3,030	650	2,572	84.9
	前年度同期	27	835	3,344	677	2,625	78.5
	前年度同期比	92.6	89.7	90.6	95.9	98.0	
ふじさん (東駿河湾)	当該年度	308	9,265	37,118	7,475	29,510	79.5
	前年度同期	364	11,273	44,613	7,980	30,847	69.1
	前年度同期比	84.9	82.2	83.2	93.7	95.7	
静清	当該年度	50	1,504	6,133	1,168	4,482	73.1
	前年度同期	51	1,544	6,193	1,149	4,391	70.9
	前年度同期比	97.6	97.4	99.0	101.7	102.1	
中遠	当該年度	34	1,017	4,138	420	1,572	38.0
	前年度同期	34	1,055	4,184	448	1,690	40.4
	前年度同期比	99.7	96.5	98.9	93.8	93.0	
西遠	当該年度	30	900	3,600	609	2,390	66.4
	前年度同期	30	910	3,612	643	2,465	68.2
	前年度同期比	99.9	98.8	99.7	94.8	97.0	
湖西	当該年度	17	496	1,986	302	1,157	58.3
	前年度同期	17	497	1,986	324	1,212	61.0
	前年度同期比	100.0	99.9	100.0	93.2	95.4	
合計	当該年度	564	16,931	68,205	13,514	53,365	78.2
	前年度同期	623	19,214	76,232	14,235	55,114	72.3
	前年度同期比	90.7	88.1	89.5	94.9	96.8	